

紀 要 委 員 会

委員長 椎谷 淳二

委 員 薄井 明 工藤 禎子

近藤 里美 櫻井 潤

佐々木明員 山田 律子

編 集 後 記

看護福祉学部紀要第16号をお届けいたします。ご多忙にもかかわらず玉稿をお寄せ下さった先生方の熱意とご努力に対し、心から敬意と謝意を表します。

我が国では急速に少子高齢化が進み、医療や介護や年金など、早急に解決を迫られている問題が山積しています。一方で、それらを担うべき次世代の専門家養成を目指す大学等の養成機関では、皮肉なことに、入学生の確保に迫われ大学経営自体にまで影響が出始めている所も少なくありません。

今日のような文明の発達した社会にあっても、人々の健康と生活を守ることがいかに大変な仕事であるかは、このたびの新型インフルエンザ流行への対応ひとつを採り上げてみても窺い知れるところです。人々の生きる営みの中で発生する様々なニーズに適確に応えうる専門職業人の養成は、今後ますます充実していかなければなりません。激動の時代であるからこそ、私たち大学人にはなお一層の努力が必要なのだろうと考える昨今です。

紀要が、これまでどおり学内外で活用されることを心から願っています。

(椎谷 淳二)